

単元の目標

地域のお気に入りの場所を紹介するスピーチについて、新しく来たALTに発表したり、級友のスピーチを聞いたりすることを通して、まとまりのある内容を話したり、話の要点を聞き取ったりすることができるようにする。

学習活動

1時

- ① ALTのお気に入りの場所（母国）についてのスピーチを聞き、単元の目標を共有する。
- ② 教科書の内容から、There is [are] ～や疑問詞（how）の特徴やきまりを確認する。

2時

- ① There is [are] ～を含む教科書の内容を聞いて、話の要点を聞き取る。
- ② 自分の住んでいる地域について伝え合う。

3時

- ① 疑問詞（how）を含む教科書の内容を聞いて、話の要点を聞き取る。
- ② 自分の住んでいる地域について伝え合う。

4時

- ① 物が置いてある場所をペアで説明したり、目的地への交通手段をたずね合ったりして、There is[are]～を含んだ文や、手段・方法のたずね方・答え方を理解する。

5時

- ① ALTや教師のスピーチ、教科書本文を参考に、まとまりのある話の組み立て方を理解する。
- ② 自分の紹介したい場所について短いスピーチを作成し、伝え合う。

6～7時

- ① 地域のお気に入りの場所について、スピーチ原稿を書く。
- ② ALTにお気に入りの場所を紹介するスピーチを行う。
- ③ 級友のスピーチを聞き、要点をメモする。

後日

ペーパーテストを実施する。

単元の評価規準「聞くこと」

- ・ There is [are] ～や疑問詞（how）の特徴やきまりを理解している。
- ・ There is [are] ～や疑問詞（how）の特徴やきまりの理解を基に、教科書の登場人物や級友のスピーチの要点を聞き取る技能を身に付けている。

ALTの先生に紹介したい場所はどこで、そこには何があり、どのように行けるかなど、スピーチの要点を聞き取っている。

ALTの先生に紹介したい場所はどこで、そこには何があり、どのように行けるかなど、スピーチの要点を聞き取ろうとしている。

※実際の評価に当たっては、他の領域（「話すこと（発表）」等）の評価規準を設定することも考えられる

評価規準【評価方法】

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

※ 評価規準の記載のない時間については、記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。

（6～7時）

ALTの先生に紹介したい場所はどこで、そこには何があり、どのように行けるかなど、スピーチの要点を聞き取っている。

【記述分析】

（6～7時）

ALTの先生に紹介したい場所はどこで、そこには何があり、どのように行けるかなど、スピーチの要点を聞き取ろうとしている。

【行動観察・記述分析】

※単元の評価規準に照らした評価【記述分析】

※単元の評価規準に照らした評価【記述分析】

※単元の評価規準に照らした評価【記述分析】